

【学歴・職歴】

1987年3月 私立 白陵高等学校 卒業
 1992年3月 北海道大学理学部高分子学科卒業
 1994年3月 北海道大学大学院理学研究科高分子学専攻修士課程 修了
 1994年4月 北海道大学大学院地球環境科学研究科生態環境科学専攻博士後期課程進学
 1997年9月 北海道大学大学院地球環境科学研究科生態環境科学専攻博士後期課程 博士取得修了
 1997年10月 財団法人 野口研究所 博士研究員
 2000年4月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻 助手
 2007年4月 同上 助教
 2017年3月 同上 講師
 現在に至る

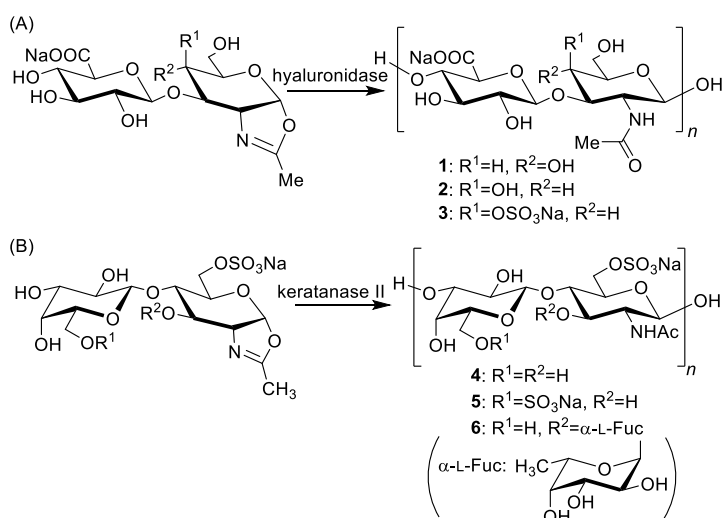
【研究業績】

researchmap: <https://researchmap.jp/read0055816>

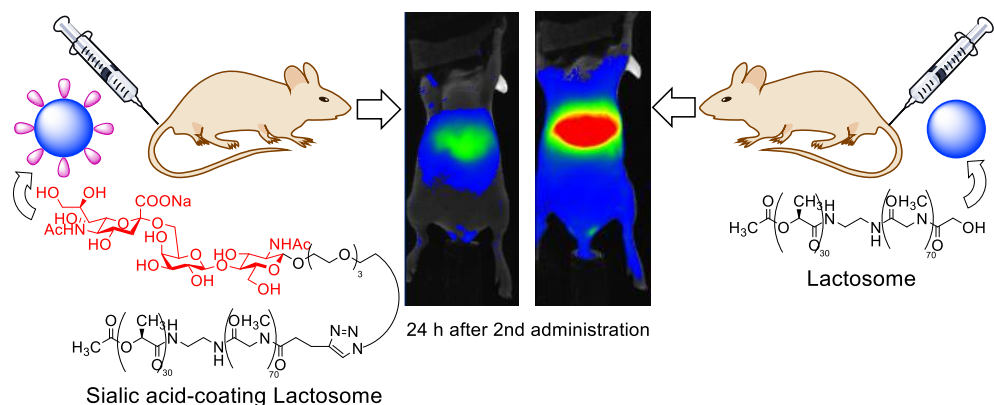
ORCID: [0000-0002-4098-4767](https://orcid.org/0000-0002-4098-4767)

ResearcherID: [I-5224-2013](https://pubs.acs.org/author/15224-2013)

【研究内容】



1. 化学-酵素法による生理活性オリゴ糖・多糖の合成
 天然の水解酵素を触媒として用いる糖転移反応（酵素重合）により構造明確オリゴ糖・多糖を合成する研究を行っている。特に、有効な化学合成法が存在せず、一方で高い生理活性が予測されている硫酸化多糖のグリコサミノグリカンの配列制御合成と、それらの持つ免疫制御機能について研究している。



2. 免疫制御糖鎖呈示ナノ粒子の合成と機能評価
 免疫系を制御する糖鎖を医用材料として利用する糖鎖呈示ナノ粒子の合成を行っている。図は免疫抑制糖鎖でコーティングした生分解性ナノ粒子（左）が、非コーティング粒子（右）で起こる頻回投与による肝臓集積を抑制していることを示している。